

# 平成27年度「学校評価アンケート」

## 集計結果



秋田県立大館桂高等学校  
総務部

## 平成27年度「学校評価」集計結果

### 総務部

#### ○ 評価・集計について

「学校評価」アンケートは、生徒・保護者・職員を対象に23～25の項目について実施した。質問の内容は、立場を変えた質問形式で行った。

回答方法は、A・B・C・D・Eの5段階としたが、Eは「判断できない」としている。評価の集計方法は、A・B・C・D・Eの回答数の割合と、A—4点、B—3点、C—2点、D—1点、E—0点としたときの評価の平均値を示した。判定については、A—2.8以上、B—2.4以上2.8未満、C—2.4未満とした。

#### ○ まとめ

全体的に昨年度と同様の結果であった。総合平均の結果からは、質問4が非常に高くなった。昨年度までは火曜日と木曜日に7校時が設定されていたが、今年度は統合校との調整もあり木曜日のみの実施となった。これにより、部活動等課外活動の時間がわずかではあるが充実したためと思われる。これに併せて、質問12の部活動に関する評価も高くなっている。生徒数が減少した中でも運動部、文化部とも桂高校最後にふさわしい活躍を見せた。また、桂高校に入学（勤務）して良かったという評価も高くなっていることは喜ばしいことである。さらに、質問17、18も昨年度より高くなっていることから生活面での規律に関する指導が適切に行われていることがわかる。それに相反して、質問8、20、23の数値は昨年同様にC評価と低くなっている。また、保護者の評価だけを見ると、質問6、7、8がC評価であり、教材や教え方のさらなる工夫により生徒の興味関心を引き出すことが求められる。また、家庭学習を習慣化させるためには、提出課題を今後も提示し、今まで以上に生徒が自ら学ぶ意識を高めていく為の努力が必要である。そのためにも、保護者とは、これまで以上に連絡を密にして学校や先生に相談しやすい雰囲気づくりに努めていくことも課題である。

学校行事に関しては、閉校行事や修学旅行等で充実した有意義な体験ができている」と思っている点も評価が高く、閉校行事も含めた今年一年の活動を通して桂高校最後に、それぞれの記憶に残る活動となった。

今後も現状に満足することなく、統合三校がそれぞれの良き伝統を引き継ぎ、さらなる飛躍を目指して職員、生徒、保護者一丸となって桂桜高校としてのスタートを迎えたい。

皆様からいただきましたアンケート結果等への御指摘・御意見等を真摯に受け止め、出来るところから早急に改善を図っていく所存でございますので、今後とも本校への御理解と御支援のほど宜しくお願いいたします。

## H27 これは、学校評価アンケートの職員・保護者・生徒の結果です。

No.	質問事項	職員		保護者		生徒		総合平均	総合判定
		平均	判定	平均	判定	平均	判定		
1	本校の教育目標や何を大切に指導しようとしているかが説明されている。	3.08	A	2.75	B	3.25	A	3.02	A
2	私は、熱心に生徒の教育活動を行っている。	3.25	A	2.91	A	3.41	A	3.19	A
3	私は、生徒の悩みや相談に親身になって応じている。	3.25	B	2.49	B	3.14	A	2.96	A
4	日課(授業の開始時間・終了時間・木の7校時授業等)は適当である。	3.38	B	2.91	A	3.37	A	3.22	A
5	大館桂高校に勤務・入学してよかった。	2.92	A	3.20	A	3.50	A	3.20	A
6	私は、教材や教え方を工夫した、わかりやすい授業を行っている。	2.83	A	2.10	C	3.17	A	2.70	B
7	生徒は、意欲的に学習している。	2.46	B	2.21	C	3.12	A	2.60	B
8	生徒は、家庭学習をしっかりと行っている。	1.83	C	2.38	C	2.59	B	2.27	C
9	生徒は、生徒会行事(かつら祭・運動会・クラス対抗など)や修学旅行等で充実した有意義な体験ができています。	3.13	A	3.33	A	3.70	A	3.39	A
10	生徒会活動は活発である。	2.42	B	2.07	C	2.98	A	2.49	B
11	環境や福祉などに関するボランティア活動が活発に行われている。	2.42	B	2.28	C	3.01	B	2.57	B
12	部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、部活動は活発である。	3.17	A	3.07	A	3.64	A	3.29	A
13	教室、校舎、校庭等の美化・清掃は行き届いている。	3.00	A	2.66	B	3.26	A	2.97	A
14	生活の規律(遅刻や服装、ルール、マナーなど)に関する指導が適切に行われている。	3.25	A	3.11	A	3.61	A	3.32	A
15	生徒の健康や安全(禁煙、薬物乱用防止等)に関する指導が適切に行われている。	3.38	A	3.17	A	3.68	A	3.41	A
16	性教育・交通安全指導など、命や人権を大切にする教育が行われている。	3.33	A	2.83	A	3.69	A	3.28	A
17	生徒は礼儀正しい生活をしている。	2.79	B	2.91	A	3.46	A	3.05	A
18	生徒は、服装・頭髪がきちんとしている。	3.13	A	3.21	A	3.46	A	3.27	A
19	進路に関しての指導・面談が十分に行われている。	2.58	B	2.72	A	3.32	A	2.88	A
20	保護者が学校や先生に相談しやすい雰囲気がある。	2.33	C	2.41	B	2.78	B	2.50	B
21	学校から家庭への連絡や情報提供はよく行われている。	2.54	B	2.64	B	2.89	A	2.69	B
22	職員は、保護者や来訪者に対して誠実に対応している。	3.00	A	2.85	A	2.98	A	2.94	A
23	保護者は、学校の教育活動に対し協力的である。	2.25	C	2.07	C	3.13	A	2.48	B
24	統合を見据え、有意義に閉校行事を終えることが出来た。	3.21	A			3.22	A	3.21	A
25	生徒が主体的に参加し、思い出深い行事になるよう指導できた。	2.88	A			3.37	A	3.13	A

## 平成27年度 学校評価アンケート自由記述に対する回答

Q・夏の制服が寒いときにカーディガンやセーターをはおれるようにしてほしい。  
・夏服のブラウスにも長袖があればと思います。  
・学校内、通学時に寒いのでセーターを着させたいのですが、学校からは下着で調整するように言われているようです。下着を着て、カイロを貼っても寒いようです。せっかく、高いお金を出して指定のセーターを買ったのだから、自由に着ても良いと思います。（ほか、制服については多数のご意見をいただきました）

A. 夏季の移行期間の寒さ対策につきましては、大館鳳鳴高校や大館国際情報学院高校の例にならって、大館桂桜高校でも4月から夏服の長袖ブラウスを新たに用意いたしました。防寒用のセーター同様に全員に着用を強制するものではありませんので、注文書をご一読いただき、必要な方のみご購入ください。また、制服は夏服、冬服、防寒用と用途に応じて定められているものです。それぞれにあった着用をお願いいたします。なお、異常気象などにより夏季においても肌寒い場合には、冬服などの着用を許可することもあります。その他詳細につきましては『生徒手帳』の「服装規程」をご覧ください。

Q. 決まり事が先生によって生徒への伝え方が違うのが気になります。統一してもらいたいです。

A. 不安を与え申し訳ありません。先生方にも個性があり、同じことを伝える場合でも、色々と工夫をして話すことがあります。ただし、伝える内容自体が違うのであれば問題だと思われるので、そのような場合には遠慮無く学校にお問い合わせください。

Q. 登下校の送迎のマナーの悪さが気になります。統合校に向けての期待も高まるころですが、残りの学校生活を桂生としての意識を持って過ごしてほしいと思います。ご配慮お願い致します。

A. 『生徒指導だより』やSHRなどにおいても呼びかけを行っておりますが、なかなか改善されておられません。近隣住民の方からもお叱りのお電話を時々いただいておりますが、送迎される方の自覚を待つしか無いのが現状です。大館桂桜高校への送迎車の進入につきましては、後日指示があると思いますので、ルールを守っていただきますようにご協力をお願い致します。

Q. テスト範囲を授業でやらず、プリントを渡してこの中から出ますと言われるのが困っているようです。テストに出るところは、授業で教えてほしいと思います。

A. 調べ学習を行った分野がテスト範囲だったため、不足部分をプリントで補う形にしました。調べ学習は生徒自身が調べたり、発表したり、聞いたりするという機会を設けることで生徒の主体的な学習態度を育てるのに効果的です。今後も座学と調べ学習とのバランスを考慮し、様々な力を身につけてもらえるよう授業を工夫改善していきます。

Q. 調べ学習の授業では一部だけを深く調べ、他の所は発表を聞いて知るという形の授業で苦手なようです。学校は大好きですが、共学になることが不安なようです。

A. 調べたことを発表する形態の授業では、自分の調べたことについての知識は深まり、他の生徒の調べたことについては深まらないということは考えられます。他の生徒の発表内容でよく分からないことや疑問に思うことなどを、発表者や先生に質問してみましょう。質問することで生徒同士の意見の交流が生まれ、授業が活性化し、生徒自身の理解にもつながりますので、常に「質問しよう」という準備をして、発表を聞くよう心がけてみてください。「学校がすき」という点については安心しました。共学になることへの不安についてですが、「具体的に、どんなところに不安を感じるか」を教えてください、対応もできるのではないかと考えています。

Q. 教科の先生によって分かりにくいと聞いています。先生方ももう少し工夫してほしいと思います。

A. わかりやすい授業を行うことは我々教員が常日頃考えていることですが、生徒たちにとってわかりにくい授業なのであれば、おっしゃる通り、そこには工夫の余地があります。先生によってわかりにくさが生じてしまうことがないように、授業研修に努めていきたいと思っています。

Q. 部活動の終了時間ですが、遠方（バス、電車）通学にも少し対応した時間帯も考えて頂けたら少しは助かります。午後7時下校となれば、丁度のバス・電車がなく雨や冬季はどうしても学校まで迎えが必要です。女子高生ですので夜道の事を考えると、少しでも安心できるように学校まで迎えには行くようにしています。

A. 年間を通じて大会がある部活動も多く、それに向けて練習時間が7時近くになる場合がほとんどかと思しますので、遠方から通学されている生徒の送迎に関しては保護者の皆様にはご負担をおかけしております。しかしながら、交通機関に応じた練習時間を設定することで、活動内容や活動時間に大きく制約を受けることが予想されます。そのため、かつらデー（週1日は部活動の休養日を設定）やノー残業デー（月1日は17:00に完全下校）の設定など学校としての取り組みも工夫しております。

家庭的な事情でどうしても帰宅時間を早めたい場合などあるかと思えます。その際は部活動顧問と御相談の上、個別に対応するなど検討していただければと思います。

Q. 部活でコーチ(分かる人)に教えてもらいたいのですが、学校の承諾が必要ですか？部活も2～3時間とやっていてレベルアップになる貴重な時間なのでただやるよりは、上手に教えてくれる人が必要です。又、子供達も結果を残すことができればやる気も違うと思います。

A. 本校のみならず、未経験の部活動に携わる先生も多くいるのが現状です。本校では外部コーチ制度を設け、年度初めに希望する部活動を募っております。今年度の登録は

締め切っておりますが、正式に指導を受ける場合には部活動顧問の先生から要望していただければと思います。

また、部活動以外での活動については、学校管理下の活動として認められないため、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の対象となりません。そのため、万一、事故等があった場合は補償が適用されませんのでご承知おきます。

Q. 7月開催の運動会はやめて欲しい。

A. 運動会は例年、9月の第1週目に開催しておりましたが、今年度は部活動の大会と重なったこともあり、日程を検討した結果、7月の第3週に実施していたHR対抗の時期に運動会を実施しました。5、6月は定期考査や県北・全県総体、学校祭のため日程調整が難しく、9月は2週目以降から就職試験が始まり、実施が難しいという現状があります。体調を崩す生徒が多く、開催時期については問題があったとは思いますが、今年度はこの時期の開催となりましたことをご理解いただければと思います。なお、来年度は6月中旬を予定しています。

Q. 進路に悩んでいます。一人一人と相談できるように対応していただけたらと思います。

A. 担任を中心に、職員全員が進路に関しての相談を受けられるよう、進路指導部としては、進路情報の提供及び進路資料室の整備に努めております。また、直接生徒が進路に関して考えるきっかけやヒントとなるべく、様々な進路に係わる行事を開催しております。担任、学年部とも連携し、相談を受けられる態勢を整えておりますので、遠慮無く担任や学年部にご相談ください。また、今後もより一層、一人一人が気軽に相談できる環境作りに努めて参りたいと思います。

Q. 学校のプリント・提出物・予定など早めに配っていただきたい。その為に休みが取れなく、予定がたたなく困ることもあります。忙しいとは思いますがよろしくお願ひします。

A. P T Aや学校行事の案内、部活動の参加同意書、アンケート等、様々なものをお子さんとおして保護者の皆様に配布しております。提出期限に余裕を持たせ、早めに御連絡するよう今後とも努めます。今後とも御協力くださいますよう、お願いいたします。